平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月23日

上場会社名　鉱研工業株式会社　　上場取引所　大
コード番号　6297　URL　http://www.koken-boring.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 末永　幸紘
問合せ先責任者 (役職名) 取締役　管理本部長　(氏名) 大谷　幸彦　TEL 03-6907-7888

四半期報告書提出予定日　平成24年8月6日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,071	△0.2	△72	―	△91	―	△93	―
24年3月期第1四半期	1,073	△15.4	0	―	△6	―	△11	―

(注)包括利益　25年3月期第1四半期　△94百万円　(―%)　24年3月期第1四半期　△11百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△10.43	―
24年3月期第1四半期	△1.29	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	6,398	1,461	22.5
24年3月期	6,730	1,556	22.8

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　1,441百万円　24年3月期　1,535百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年3月期	―				
25年3月期(予想)		0.00	―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,690	32.9	1	―	△40	―	△50	―	△5.58
通期	5,800	15.0	190	363.0	110	―	80	―	8.92

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	8,970,111 株	24年3月期	8,970,111 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	3,029 株	24年3月期	3,029 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	8,967,082 株	24年3月期1Q	8,967,082 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 4
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 5
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 5
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 5
３．四半期連結財務諸表 …… 6
（１）四半期連結貸借対照表 …… 6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 8
四半期連結損益計算書 …… 8
四半期連結包括利益計算書 …… 9
（３）継続企業の前提に関する注記 ……10
（４）セグメント情報等 ……10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……10
（６）重要な後発事象 ……10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興事業とエコカー補助金という政策効果に支えられ、国内需要を中心に緩やかな景気回復が続く展開となりました。

こうした中、当社グループでは前連結会計年度より開始した「中期経営計画」に基づき、売上高の持続的拡大と収益体質の確立を基本方針として、グローバル展開の促進、市場・顧客開拓力の向上、得意分野の深化、損益分岐点の引き下げ、コーポレート・ガバナンスの確立に取り組んでおります。

当第１四半期連結累計期間は、ボーリング機器関連の受注は震災復興需要もあり前年同四半期に比べ増加しましたが、工事施工関連の受注は大型工事案件がなく減少したことから、受注高は前年同四半期比17.1％減の1,285百万円となりました。売上高につきましては、ボーリング機器関連は国内販売の増加により前年同四半期に比べ増加したものの、工事施工関連が大型工事の出来高減少等により減少したことから、前年同四半期比0.2％減の1,071百万円となり、営業損失72百万円（前年同四半期は640千円の営業利益）、経常損失91百万円（前年同四半期は６百万円の経常損失）、四半期純損失93百万円（前年同四半期は11百万円の四半期純損失）を計上いたしました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（ボーリング機器関連）

当セグメントにおきましては、海外販売は中国における鉄道建設向けの需要が引き続き停滞しているものの、国内販売は年初より震災復興工事を見込んだ需要が増加しつつあり、当第１四半期連結累計期間の受注高は前年同四半期比17.3％増の801百万円、売上高は前年同四半期比17.1％増の663百万円となりました。しかしながら、厳しい受注環境に伴う販売価格の低迷や工場稼働率の低下等による原価率の上昇により、セグメント損失（営業損失）78百万円（前年同四半期は61百万円のセグメント損失）を計上いたしました。

（工事施工関連）

当セグメントにおきましては、当第１四半期連結累計期間は大型工事案件の受注がなく、受注高は前年同四半期比44.2％減の483百万円となり、売上高につきましても大型工事の出来高の減少等により前年同四半期比19.5％減の408百万円となりました。売上高の減少に加え、工事出来高が低水準であったことに伴う間接費負担の増加等により原価率が上昇したこともあり、セグメント利益（営業利益）は前年同四半期比90.1％減の６百万円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産の部

当第１四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して331百万円減少し、6,398百万円となりました。

流動資産は、ボーリング機器関連において生産高の増加により商品及び製品が13百万円、仕掛品が23百万円増加し、工事施工関連においては仕掛工事が進捗し始めたことにより未成工事支出金が211百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金、完成工事未収入金が主に回収により492百万円減少し、また現金及び預金も借入金の返済等により69百万円減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して329百万円減少し、4,362百万円となりました。

固定資産は、工事施工関連における機械装置及び運搬具などで30百万円の設備投資を行ないましたが、33百万円の減価償却の実施により、前連結会計年度末と比較して２百万円減少し、2,036百万円となりました。

②負債の部

当第１四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して237百万円減少し、4,937百万円となりました。

流動負債は、短期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が75百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が支払いにより121百万円減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して44百万円減少し、3,182百万円となりました。また、固定負債は、退職給付引当金が主に定年退職者等への支給により52百万円、役員退職慰労金が未払金への振替により14百万円、長期借入金が約定弁済により125百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比較して192百万円減少し、1,754百万円となりました。

③純資産の部

当第１四半期連結会計期間末の純資産合計は、四半期純損失として93百万円を計上したことから1,461百万円となり、自己資本比率は前期末の22.8％から22.5％となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

今後の我が国経済は、東日本大震災からの復興需要が内需を支え、米国景気の復調や円高の一服による輸出好転に伴う景気の回復が期待されますが、原油高や原子力発電所の停止による電力不足懸念、依然としてくすぶる欧州の財政リスクなど不安が残る状況にあります。

このような状況のもと、当社グループでは平成23年度から開始した「中期経営計画」に基づき、売上の持続的拡大と収益体質の確立を基本方針として、グローバル展開の促進、市場・顧客開拓力の向上、得意分野の深化、損益分岐点の引き下げ、コーポレート・ガバナンスの確立に取り組んでまいります。

当期（平成25年３月期）につきましては、社会基盤整備、資源開発需要が旺盛なアジアを中心とする海外販売および国内における更新需要、震災復興需要の捕捉に注力するとともに、当社グループの得意とする大口径立坑掘削工事、山岳調査工事、地下水活用事業、地熱・地中熱等の活用工事の受注に努めてまいります。

このような状況を踏まえ、通期の連結業績予想は次のとおりであります。

（連結業績予想）

売上高	5,800	百万円	（前期比 15.0％増）
営業利益	190	百万円	（前期比363.0％増）
経常利益	110	百万円	（前期比 ― ）
当期純利益	80	百万円	（前期比 ― ）

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

〔追加情報〕

（資本金の額の減少及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分）

当社は、平成24年５月16日開催の取締役会において、平成24年６月22日開催の定時株主総会に下記要領にて資本金の額の減少について付議することを決議するとともに、資本準備金の額の減少について決議いたしました。なお、付議事項に関しては、平成24年６月22日開催の定時株主総会で決議されており、この決議を踏まえて、同日開催の取締役会において、その他資本剰余金を利益剰余金へ振り替えることを決議しております。

１.資本金の額及び資本準備金の額の減少の目的

当社の事業再構築のため、過年度の欠損金を一掃することで財務体質の健全化を図り、今後の機動的かつ効率的な経営および柔軟な資本政策を可能とするものであります。

２.減少する資本金の額及び資本準備金の額並びに資本金及び資本準備金の減少の方法

(1) 減少する資本金の額及び資本金の減少の方法

平成24年３月31日現在の資本金1,846,297,569円のうち680,882,066円を減少し、その他資本剰余金に振り替え、資本金の残高を1,165,415,503円にします。なお、資本金の減少は、発行済株式総数の変更を行わず、資本金の額を無償で減少いたします。

(2) 減少する資本準備金の額及び資本準備金の減少方法

平成24年３月31日現在の資本準備金648,400,000円の全額を減少し、その他資本剰余金に振り替え、資本準備金の残高を０円といたします。

(3) 今後の日程

①債権者異議申述最終期日　　平成24年７月25日

②効力発生日　　平成24年７月26日

(4) その他

本件による資本金の額の減少及び資本準備金の額の減少は、いずれも「純資産の部」の内訳の振替となりますので、当社の「純資産の部」の合計額は変動せず、「１株当たり純資産額」も同額であります。

また、本件が業績に与える影響はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	783,013	713,373
受取手形及び売掛金	1,426,183	871,503
完成工事未収入金	257,896	320,025
商品及び製品	1,393,248	1,406,451
仕掛品	119,419	143,037
未成工事支出金	141,680	353,581
原材料及び貯蔵品	466,624	489,069
前渡金	58,778	4,756
その他	60,383	72,735
貸倒引当金	△15,280	△11,908
流動資産合計	4,691,948	4,362,626
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,351,566	1,351,566
その他（純額）	591,738	588,784
有形固定資産合計	1,943,304	1,940,350
無形固定資産	6,655	6,562
投資その他の資産		
その他	215,543	212,897
貸倒引当金	△126,849	△123,472
投資その他の資産合計	88,694	89,424
固定資産合計	2,038,655	2,036,336
資産合計	6,730,603	6,398,962

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,175,582	1,054,298
工事未払金	41,087	46,339
短期借入金	916,810	992,600
1年内返済予定の長期借入金	501,880	501,880
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
賞与引当金	107,110	77,189
その他	434,565	460,440
流動負債合計	3,227,034	3,182,747
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	905,200	779,730
退職給付引当金	698,976	646,135
役員退職慰労引当金	104,344	89,850
資産除去債務	10,991	11,025
その他	177,545	177,545
固定負債合計	1,947,057	1,754,286
負債合計	5,174,092	4,937,033
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,846,297	1,846,297
資本剰余金	1,687,943	1,687,943
利益剰余金	△2,159,462	△2,252,995
自己株式	△1,243	△1,243
株主資本合計	1,373,534	1,280,001
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△208	△280
土地再評価差額金	162,100	162,100
その他の包括利益累計額合計	161,891	161,820
少数株主持分	21,084	20,106
純資産合計	1,556,510	1,461,929
負債純資産合計	6,730,603	6,398,962

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	1,073,346	1,071,540
売上原価	768,966	840,355
売上総利益	304,379	231,184
販売費及び一般管理費	303,738	303,398
営業利益又は営業損失（△）	640	△72,214
営業外収益		
受取利息	315	186
貸倒引当金戻入額	6,346	4,975
その他	1,983	1,734
営業外収益合計	8,645	6,897
営業外費用		
支払利息	13,651	14,357
支払手数料	74	267
為替差損	1,207	11,171
その他	1,081	515
営業外費用合計	16,014	26,312
経常損失（△）	△6,728	△91,629
特別利益		
固定資産売却益	68	－
特別利益合計	68	－
特別損失		
固定資産売却損	587	－
固定資産除却損	129	－
投資有価証券評価損	1,489	－
特別損失合計	2,206	－
税金等調整前四半期純損失（△）	△8,866	△91,629
法人税、住民税及び事業税	3,867	3,867
法人税等調整額	△54	△985
法人税等合計	3,812	2,881
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△12,679	△94,510
少数株主損失（△）	△1,144	△977
四半期純損失（△）	△11,535	△93,532

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△12,679	△94,510
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,247	△71
その他の包括利益合計	1,247	△71
四半期包括利益	△11,431	△94,581
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△10,287	△93,604
少数株主に係る四半期包括利益	△1,144	△977

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　平成23 年４月１日　至　平成23 年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ボーリング機器関連	工事施工関連			
売上高					
外部顧客への売上高	566,204	507,141	1,073,346	―	1,073,346
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,760	―	6,760	△6,760	―
計	572,965	507,141	1,080,106	△6,760	1,073,346
セグメント利益又は損失（△）	△61,463	62,442	978	△337	640

（注）１.セグメント利益又は損失（△）の調整額△337千円は、セグメント間取引消去であります。
２.セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ボーリング機器関連	工事施工関連			
売上高					
外部顧客への売上高	663,162	408,377	1,071,540	―	1,071,540
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,966	―	2,966	△2,966	―
計	666,129	408,377	1,074,506	△2,966	1,071,540
セグメント利益又は損失（△）	△78,393	6,155	△72,237	23	△72,214

（注）１.セグメント利益又は損失（△）の調整額23千円は、セグメント間取引消去であります。
２.セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

該当事項はありません。